

## 暗殺・リトビネンコ事件（ケース）（2007）

REBELLION THE LITVINENKO CASE

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 ロシア

色彩 Color

時間 110分

初公開日 2007/12/22

公開情報 スローラーナー

### 【キャッチコピー】

彼は、愛しすぎたのか？

### 【解説】

様々な謎と憶測を呼び、世界中で大きなニュースとなったアレクサンドル・リトビネンコ中毒死事件の真相に迫るドキュメンタリー。2006年11月、イギリスに亡命中だった元F S B（ロシア連邦保安庁）中佐、アレクサンドル・リトビネンコが中毒症状を起こして病院に収容され、そのまま数週間後に息を引き取る。体内からは、入手がきわめて困難な放射性物質ポロニウム210が大量に検出された。リトビネンコがF S Bとプーチン政権の腐敗を執拗に告発していたことから、事件はロシア側関係筋の何者かによる暗殺という疑惑が深まっていく。リトビネンコに過去4年にわたってインタビューを行ってきたアンドレイ・ネクラソフ監督は、この衝撃的な事件を受けて、彼の生前の主張をまとめるとともに、彼が殺されなければならなかった理由を彼の妻や政商ベレゾフスキーなど関係者へのインタビューを通して探っていく。

### 【クレジット】

監督 アンドレイ・ネクラソフ Andrei Nekrasov